

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年12月25日

事業所名 出雲サンホーム地域福祉サービスセンターソレイユ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・スペースは十分に確保出来ている。	
	2 職員の配置数は適切である	6				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			・バリアフリー環境は整っている。	・環境については、定期的な安全確保は必要。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		1	・必要に応じて会議を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている					
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3		・児童に関する研修は出来ていないが、マナーアップや人権研修など、資質向上に繋がるような研修を取り入れている。	・療育の時間と研修時間が重なり、研修に参加出来るよう調整が課題。 ・児童の支援や発達障害についてなど、または、放課後等デイサービス職員の研修があると参加したい。 ・主に発達障害の研修があると、参加出来ると良い。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・送迎時、ご家族とお会いできない事もあり、アセスメント用紙を用いている。 ・ケアプラン内容を組み入れた計画を行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・担当で情報共有し対応している。 ・チーム内で計画して行っている。	・毎月の支援会議を上手く活用し、活動プログラム作成が必要。 ・今は、1ヶ月ごと(の活動予定)だが、もう少し先を見据えた活動予定があっても良いと思う。(年間や半年など)
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・季節に合った活動や、季節を感じる創作活動の工夫を行っている。 ・季節やイベントなど考慮し、プログラムしている。 ・季節の活動を取り入れ、様々な方法でマンネリにならないようにしている。 ・季節が感じられる内容を取り入れている。 ・季節の感じることで出来る活動を取り入れている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3	1	・長期休暇など、普段出来ない外出なども実施している(お金の使い方等、社会性が身に付くなど、目的を明確にしている。)	・計画的に出来ると良い。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・個々の状況に応じて、様々な活動を考え、実施出来ている。 ・ご家族や学校からも情報収集を行い、作成している。 ・個別性に応じたケアプランの作成を行っている。	・時間を見て、一緒に活動を始めるようにしているが、(児童によっては)集団活動になかなか入れていない。職員間で、情報交換している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		・その日に行う支援内容を打ち合わせ、使う物などの準備をしている。 ・支援内容や進行状況が一目見て分かるような様式を作成し使用し、支援の内容の確認を行っている。	・限られた時間の中で支援会議を開催する為、事前に検討課題を提示し、各々が意見を持って会議に参加する事が必要。 ・支援前、終了後に集まり打ち合わせを行う時間が取れていない。特に、終了時には、そのまま事業所のミーティングに入るので、振り返りを行う時間がない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	1	・出来る範囲で実施している。 ・ノートなど活用し、担当間で情報共有している。 ・その日の支援を記録し、それを基に職員間で情報共有している。 ・終了後に打ち合わせはしていないが、共通事項については、共有ノートへ記載している。	・支援前、終了後に集まり打ち合わせを行う時間が取れていない。特に、終了時には、そのまま事業所のミーティングに入るので、振り返りを行う時間がない。 ・毎回必ず行う事は出来ていないが、必要時担当者間で話し合いを行ったり、共有ノートに記録を残し周知している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・個別支援計画に基づいて、月々の支援目標を立て支援している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5		1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			・児発管を中心に会議に際しては、スタッフより状況を確認している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		1	・送迎時、支援会議等活用し、ご家族、関係機関と連携を図っている。 ・連絡帳や迎えに来られた際に確認するようにしている。 ・下校時にその日の様子を聞く、支援で疑問に思ったことは聞いている。 ・学校お迎え時、確認を行っている。	・相談支援専門員との関わり、情報交換が必要であるが、相談員の介入の仕方によっても、個々に状況は異なる。事業所からの相談も必要。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	1		・必要であれば行う。 ・主治医と連絡体制を整えておかなければならない程の医療的ケア児がいらない為整えていないが、必要な際には整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		1	・必要な際には情報提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	1	・該当ケースは少ないが、必要な情報や助言は、相談員を介して行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4		・保育園が隣接しているので、園児と自然な交流ができる。	・保育園との交流があるが、今年は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い実施できていない。感染が収束すれば、交流の機会を増やしたい。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、外部との関りを控えている為、実施できていない。状況を見て行っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2		・研修等企画され、児発管同士の交流(関係作り)、情報交換もできる。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・お迎え時、その日の様子をお伝えしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約や計画提示の際に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		1	・傾聴している。 ・お迎え時など、保護者と話をするようにしている。	・ケースに応じては、事業所単位で返答していく場合があるので、相談員を巻き込むことが大切。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				・苦情からの対応は周知出来ている。 ・現段階で苦情はないが、必要時、迅速な対応が必要。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		1		・機関誌等で、支援の様子はお伝えしているが、行事予定などの発信は出来ていない。
	35	個人情報に十分注意している	6				
保護者への説明責任等	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・個別性や障害特性に応じて、必要な対応をとっている。	・個々のスキルアップは都度必要。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	1		・保育園との交流があるが、今年は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い実施できていない。感染が収束すれば、交流の機会を増やしたい。 ・行事等招待する事は出来ていないが、ボランティアや地域住民の方の積極的な受け入れは重要と考える。 ・まつりなどの機会に地域の方を招待するが、今年は新型コロナウイルスの影響で行っていない。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、外部との関りを控えている為、今年度は行事自体を行っていないが、状況を見て行っていく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3			・その時々で必要なマニュアルの作成、見直しは必要。 ・職員は周知しているが、保護者に周知出来ていない為、機関誌やホームページで紹介する等、工夫が必要。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2			・長期休みの場合でしか実施できておらず、放課後の時間帯については検討が必要。 ・長期休暇中の訓練は参加しているが、放課後の時にはしておらず、職員が手薄であった場合の訓練は必要と思う。 ・放課後の時間帯での避難訓練が出来ていない為、防災担当に訓練実施を依頼している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2		・セルフチェックシート等振り返りの機会を設けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			・ケアプランに載せ、分かりやすく説明している。	・身体拘束に該当するケースはないが、該当者があった場合の流れや手順体制は、整っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5		・必要な情報は事前に得て対応を行っている。	・食物アレルギーの把握は行っている。 ・医師の指示書はないが、アレルギーの把握を行い、除去し提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				